

答 産業支援については、今次期総合計画の中で鋭意議論を積み重ねている最中。空洞化は避ける方向で産業政策を進めたい。

問 生活圏を共にする近隣市町村との連携は重要、具体的な取り組みは。

答 工場の祭典など。

三条市内の土砂災害対策について

問 近年全国的に土砂災害が発生している。三条市における対応は。

答 23年の災害復旧を優先し、災害防止施設整備計画は定めていない。緊急性の高いところから県に要望する。



土砂災害防止

災害復旧事業について

問 補助事業として申請しない災害復旧の対応と受益者分担金について。

答 基準を整備し、その都度対応が変わることのないように努める。

市道の管理について

問 泥上げや草刈り等の市道の管理について、どのように考えているのか。

答 地先や自治会にお願いしている。経費負担は考えていない。今後、柔軟な対応について検討する。



市道の管理

市役所職員の人材確保について

問 保育士不足が深刻化している。保育士の確保はどうなっているのか。

などの内水対策により、一部箇所を除き来年度の出水期には改善が図られる。また、新通川などの県の改修事業においても早期の全面改修に向けて大幅にかじを切りつつある状況。それに合わせ、市としても新通川周辺の内水対策として排水路整備に取り組みたい。

調整池の設置基準について

問 豪雨対策として、開発行為における調整池設置基準の見直しを行う必要があるのではないかと。必要があるのではないかと。お願いしていく必要があると思っている。今後設置基準の見直しについて検討会を立ち上げ検討していく。

道路冠水時の通行止めについて

問 道路冠水時における被害拡大防止のための通行止めの措置は、自治会や市民が自らの判断で行えるようにすべきではないか。

答 要望のあった自治会へ立ち入り禁止テープや三角ポールおよびバリケードを渡した。また、要望のあった自治会以外にも照会して対応していきたい。

答 学校関係で受験の動機付けや広報媒体による周知に取り組み、民間との整合を考え募集している。

職員の時間外勤務について

問 1人当たりの時間外勤務は減っているのか。時間外勤務が恒常化しているのではないか。

答 今年度は全体、1人当たりともに増えている。時間外は突発的、臨時的な対応である。今後とも縮減に努める。

牛乳を試行的に4カ月間休止すること

問 意思決定構造は。

答 給食運営委員会の意見を踏まえ、教育委員会で議論し決定する。

問 試行的にはいえ、牛乳をやめる一番の理由は？

答 和食に牛乳は合わない。

問 意思決定をしたのは今年の2月のことであるが、前年の11月末までに決めてあったのでは？

答 今年の2月に給食運営委員会で決定されました。

問 6月の給食運営委員会で教育長が「来年度以降の取り組みを決

学校教育田について



教育田での田植え

問 農業情勢が大きく変わっている中で、条件の見直しが必要ではないか。

答 基準単収や単価等実態と乖離があり、適切な見直しを行いたい。

布施谷川、新川排水路、吉津川の内水氾濫対策について

問 平成24年、25年の2カ年にわたり5回の検討会で4つの提言が示されたが、現在どのように取り組んでいるのか。布施谷川排水ポンプの運転を三条土地改良区にお願いしたらどうか。

定していただければ」の発言があるが。

答 この問題は10年前から学校給食をどうしていくか、ここから議論されてきた。

問 このような大事なことを学校長やPTA、児童生徒の意見も聞かず決めようとしていることは問題では？

答 11月はあくまでも暫定的な申し出であり、年明けでも変更は可能であると考えられる。

問 この問題は賛否両論かと捉えているが、市長の「当たり前だよね」発言の主旨は？

答 私は賛同する立場です。和食に牛乳は合いません。

ヒメサユリについて

問 市の花ヒメサユリや山菜を生かす有効な策はないか。

答 旧荒沢小学校跡地を活用できないか、目下最も効果的な対策を検討中。

内水対策について

問 母なる五十嵐川の濁り取り策と最終処分場建設を下田地区だけの問題にしないで、全市の課題として協議してはどうか。

答 吉津川上流で輪中堤、排水ポンプの設置工事を実施しており、布施谷川の排水ポンプの運転は再度三条土地改良区と話し合い、進めたいと思っている。

布施谷川上流部改修について

問 県が示している県道大面保内線までの平成28年度完成は大丈夫か。

答 予定通り完成することはなかなか難しい状況ではあるが、一刻も早い完成のために県へ強く要望していく。

豪雨被害、どうして三条だけ？!

問 7月の豪雨で三条市の被害は県内全体の8割を占めた。なぜ他市と比べ被害が大きいと市長は考えるか。

答 旧四日町、旧条南、旧一中の学校跡地に調整池を設置する計画だ。たればを言えば、嵐南小中一休校が早くできていれば浸水被害も軽減することができたと思う。

問 市民が自主防衛をする上での啓発活動はどのようになっているか。

答 各分遣所に土のうを備蓄している。希望する場合は取りに行ってもいい。運搬が困難な高齢者世帯

に対しては、今年度進めている調整池設置工事

問 議会と住民に説明できないか。質問されても、法的に一切説明することは市長としてしない。

7月9日の豪雨災害について

問 7月9日の豪雨災害を検証した上で、さらなる豪雨対策の推進はどのように考えているか。

答 本年度進めている調整池設置工事